

# 山形地方気象台からの情報提供

# 山形地方気象台の自治体支援

## 平時

- ・各市町村等への訪問等で「顔の見える関係」を構築・連携強化
- ・災害リスクや情報利活用の研修・演習
- ・地域防災計画等の改訂支援
- ・関係機関等と連携し効率的な普及啓発等



気象防災ワークショップ



市町村訪問

気象防災ワークショップでは、市町村の防災対応を疑似体験することで、防災対応力の向上を図る。

・昨年度は県と連携し村山地方の市町村防災担当者17名が参加。参加した自治体から、有意義であったとの意見。今後も県内全市町村を対象に開催。

市町村訪問では、毎年全市町村を訪問し、「顔の見える関係」で普段から相談しやすい環境を構築。

## 令和2年7月豪雨時

## 緊急時

- ・ホットラインによる首長や担当者への解説・助言
- ・災害対応支援のためJETTを派遣
- ・県での対策会議や記者会見による呼びかけ、危機感を広く伝える

JETT:JMA Emergency Task Team  
気象庁防災対応支援チーム



被災自治体へJETT派遣



記者会見による呼びかけ

ホットラインによる危機感の伝達、JETTを派遣し、きめ細かな解説を実施。

令和2年7月豪雨での山形県内への支援

・山形県、東根市、大蔵村、寒河江市、大石田町、新庄市、舟形町、戸沢村、酒田市、庄内町に気象台長から首長へホットラインによる解説・助言を実施。

・山形県、村山市、大江町、白鷹町、大石田町、尾花沢市、東根市、河北町、中山町、大蔵村、戸沢村にJETTを派遣。

## 災害後

- ・市町村等と共同で「振り返り」を実施
- ・災害時気象支援資料の提供



振り返りによる業務改善

市町村の防災対応や、気象台の防災気象情報等による支援について意見交換することで、相互の認識の共有、業務改善につなげる。

令和2年7月豪雨の際の山形県内での振り返り

・戸沢村、大石田町、大蔵村、大江町、白鷹町、中山町、河北町、村山市、尾花沢市と対応等について、振り返りを実施。

# 【令和2年7月豪雨 気象台の対応例】

## 大石田町に関する警報等発表状況と尾花沢の観測値

<警報・注意報等> 特別警報 土砂災害警戒情報 警報 注意報	<危険度分布> 極めて危険 非常に危険 警報級 注意報級	<指定河川洪水予報> 氾濫発生情報 氾濫危険情報 氾濫警戒情報 氾濫注意情報	<避難情報> 避難指示(緊急) 避難勧告 避難準備・高齢者等 避難開始	※危険度分布は市町村内の最大危険度を、避難情報は市町村内で最も切迫度の高いものを示す。
--	--	--	---	---

